事業番号	15　03　01

事業改善シート（27年度実施事業分）

□予算要求　□当初予算案　□補正予算案　■点検

事業名	日本語が不自由な生徒のための高校生活支援事業費	担当課	部局	教育委員会事務局
			課・室	高校教育課
総合5か年計画	プロジェクト		E-mail	koko@pref.nagano.lg.jp
	施策の総合的展開	7－1　子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実 5　すべての子どもの学びを保障する支援		
			実施期間	H17　～

1　事業の概要

目指す姿

生活支援相談員を中心とした高校生活支援体制づくりにより、各高校に在籍する日本語が不自由な外国籍生徒及び帰国生徒が、日本語（特に読み書き）や日本独特の風習・習慣の壁をスムーズに乗り越え、併せて、高校卒業後において、日本の市民社会の一員として円滑に人間関係を構築して社会的、経済的自立ができるちからを身につける。

現状（予算編成時）

・県立高等学校に在籍する外国籍生徒の数は、平成22年度に300人を超え、平成27年度には308人となっている。
・外国籍生徒の増加に伴い、日本語の理解や使用、授業や日常生活に支障のある要支援生徒数も相対的に増えている。同時に、当該生徒の家族とのコミュニケーションにも支障を生じている場合もあり、生活支援相談員の活動の機会は増加している。

県が関与する理由

県でなければ実施不可（その他）

県民との協働による実施：実施は困難

【左記の説明、根拠法令等】
県立高等学校に在籍する要支援生徒への修学支援として設置者が行う事業

成果目標・事業内容

① 成果目標（H27）

各校の現状と要望を把握しながら支援員の配置を行い、各校に在籍する日本語が不自由な外国籍生徒及び帰国生徒が安心して高校生活を送ることができるようにする。

② 事業内容　（単位：千円）

項目	実施方法	H27事業実績	H27（当初）	H27（決算）	H28（当初）
日本語が不自由な生徒のための高校生活支援事業	直接	相談員配置校　17校 相談員配置数　17名 相談等従事時間数　915時間	3,075	2,837	3,075
		合計	3,075	2,837	3,075

事業コスト

区分（単位：千円）		25年度	26年度	27年度	28年度
予算額	前年度繰越				
	当初予算	3,054	3,059	3,075	3,075
	補正予算				
	合計（A）	3,054	3,059	3,075	3,075
Aの財源	一般財源	3,054	3,059	3,075	
	県　債				
	国庫支出金				
	その他	0	0	0	3,075
決　算　額（B）		2,801	2,996	2,837	
概算人件費	職員数（人）	0.50	0.50	0.50	0.50
	概算人件費（C）	4,129	4,129	4,138	4,138
概算事業費（B(A)+C）		6,930	7,125	6,975	4,138

成果目標の達成状況

項目	H26末（実績）	H27 目標	H27 成果	H27 達成状況	H28 目標
対象生徒のアンケート満足度(助かっている。)回答率	100%	90%	100%	達成	90%

目標に対する成果の状況

生活支援相談員を17校に配置した。帰国生徒および外国籍生徒が学校生活や日本の生活に適応できるように言語を中心に学習面、メンタル面で支援を行うことができた。対象生徒29名のアンケートでは「大変助かっている」の項目が52%、「助かっている」の項目が48%であり、すべての生徒から満足してもらうことができた。
※事業に対する満足度状況を正しく成果に反映するため、平成27年度(平成26年度実施事業分)点検時に目標の修正を行いました。

2　今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか

□ 事業を実施しない　□ 事業を見直して実施　■ 事業を現行どおり実施

平成28年度も、帰国生徒および外国籍生徒が在籍する高等学校に生活支援相談員を配置する。授業や日常生活の支援に加えて、外国籍生徒の進路指導において関係機関との連絡調整等の支援も行う。相談員の配置で学校と保護者を結ぶパイプ役として教職員を支援していく。